

楽天・新興国株式インデックス・ファンド

〈愛称：楽天・VWO〉

追加型投信/海外/株式/インデックス型

交付運用報告書

第7期（決算日 2024年7月16日）

（作成対象期間 2023年7月19日～2024年7月16日）

当期末	
基準価額	16,486円
純資産総額	4,356百万円
騰落率	26.0%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、楽天・新興国株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として上場投資信託証券に投資し、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先
TEL：03-6432-7746

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページアドレスにアクセス

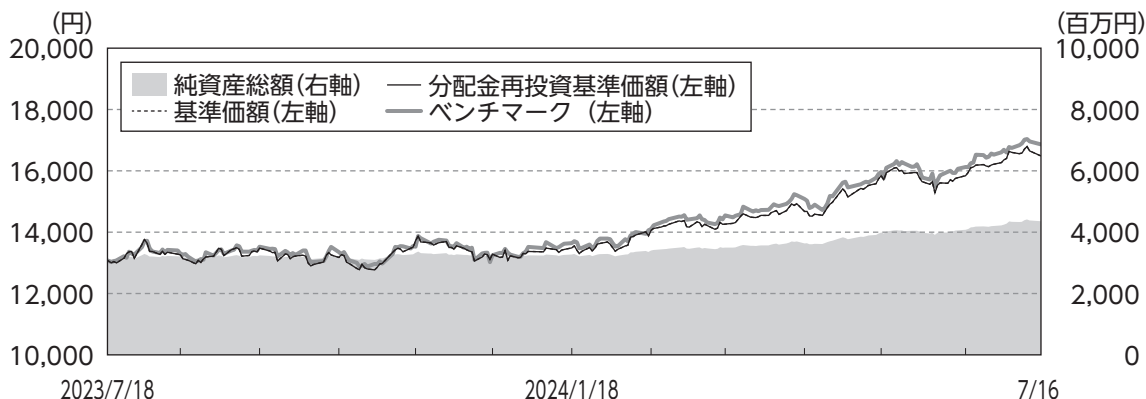
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：13,081円

期 末：16,486円(既払分配金0円)

騰落率：26.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)です。詳細につきましては4ページをご参照ください。

(注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは「楽天・新興国株式インデックス・マザーファンド」受益証券(以下、「マザーファンド」)を通じて米ドル建ての「バンガード®・FTSE・エマージング・マーケットETF」(以下、「投資先ETF」)を実質的な投資対象とするため、投資先ETFの価格変動および米ドル/円相場の動向が基準価額の主な変動要因となります(マザーファンドを通じて純資産総額の一部を実質的に海外株価指数先物に投資しているため、海外株価指数先物の価格変動の影響も受けます)。

当期の基準価額は大幅に上昇しました。新興国株式市場が期後半を中心に堅調な推移となり、投資先ETFが前期末比で上昇したことに加え、米ドルも対円で上昇し、基準価額を押し上げました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2023年7月19日～2024年7月16日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	19円 (8) (8) (3)	0.131% (0.055) (0.055) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,118円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	2 (2) (0)	0.014 (0.012) (0.002)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	5 (3) (0) (1) (0)	0.032 (0.020) (0.003) (0.009) (0.000)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
合 計	26	0.177	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

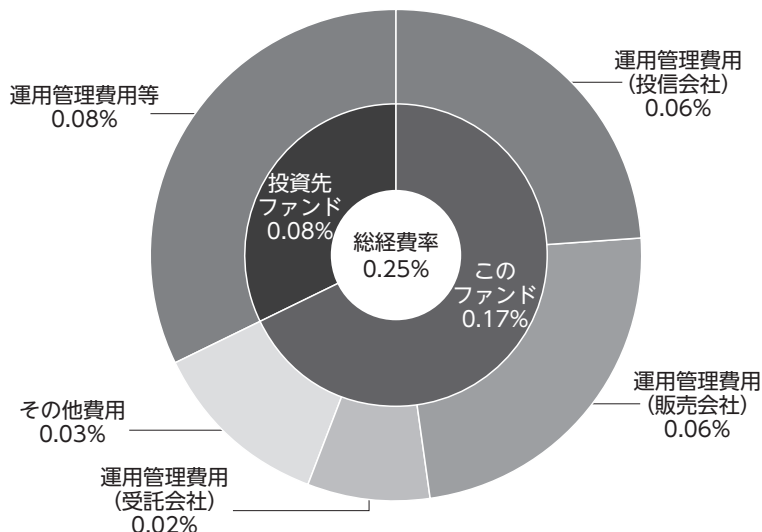
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.25%です。



総経費率 (①+②)	0.25%
①このファンドの費用の比率	0.17%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.08%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

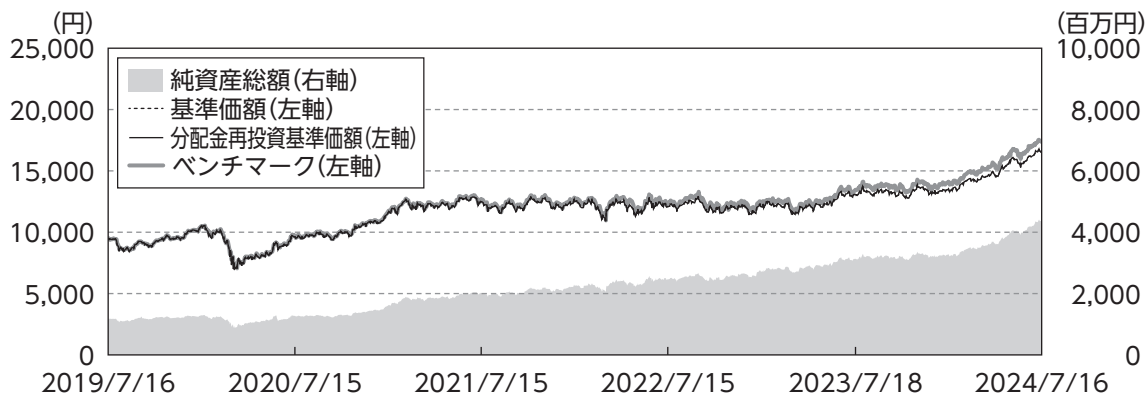
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年7月16日～2024年7月16日)



		2019年7月16日 決算日	2020年7月15日 決算日	2021年7月15日 決算日	2022年7月15日 決算日	2023年7月18日 決算日	2024年7月16日 決算日
基準価額	(円)	9,460	9,634	12,482	12,087	13,081	16,486
期間分配金合計(税込)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	(%)	—	1.8	29.6	△3.2	8.2	26.0
ベンチマーク騰落率	(%)	—	2.0	30.6	△1.8	8.8	28.9
純資産総額	(百万円)	1,171	1,272	2,018	2,463	3,131	4,356

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)です。詳細につきましては以下をご参照ください。

(注4) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2019年7月16日の基準価額を起点として指数化しています。

ベンチマークは、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)です。

「FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス」は、全世界の新興国市場の大型株・中型株・小型株を網羅する、時価総額加重平均型の株価指数です。

なお、「FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)」は、委託会社が「FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス」に日々の為替レートを乗じて算出したものです。

5 投資環境

当期の新興国株式市場は、前期末比で上昇しました。

期初から2023年10月にかけては、米国をはじめ主要国の中央銀行による金融引き締め策が長期化する事への懸念に加え、中国の経済指標の悪化や大手不動産企業の信用不安、米中对立への懸念などが投資家心理を冷やし、新興国株式は軟調な展開となりました。しかし、11月に入ると、米国でインフレ指標の下振れをきっかけに、米国経済のソフトランディング(軟着陸)への期待が強まると、グローバルにリスク選好姿勢が強まり、新興国株式市場も上昇に転じました。その後も中国政府による景気刺激策やインドの経済親和的な政権が継続することへの期待、AI(人工知能)関連の需要拡大見通しなどを背景に期末まで概ね堅調な推移となりました。

セクター別では、AI関連需要の拡大期待などを背景に情報技術セクターが大きく上昇し、国別では、世界的な半導体メーカーを抱える台湾や経済成長見通しの良好なインドなどの上昇が目立った一方、景気や不動産市場に対する不透明感から中国は上値の重い展開となりました。

当期の米ドル/円相場は米ドル高・円安が進みました。

当期の米ドル/円相場は、期初1米ドル=139円前後でスタートした後、米金利の上昇と歩調を合わせる形で米ドル高/円安が進行し、2023年10月から11月にかけては1米ドル=150円を超える水準に達しました。その後は米金利上昇が一服したことなどを背景に反転し、年末にかけては一時、1米ドル=141円割れの水準まで米ドル安/円高が進行しましたが、堅調な米雇用関連指標や燦るインフレ懸念、FRB(米連邦準備制度理事会)高官による早期利下げけん制発言などを受けた米金利の上昇を受けて、再度反転し、米ドル高/円安基調となりました。2024年3月には、日本銀行が金融政策決定会合にてマイナス金利解除などの政策修正を決定したものの、追加的な政策修正を急がないとの見方から米ドル高/円安圧力は衰えませんでした。その後も、日本当局による為替介入を受けて一時大きく円高に振れる場面がありましたが、低い金利の円を借りて米ドル等の外貨に換え、期待リターンの高い資産に投資する円キャリー取引への需要が根強かったことなどから6月から7月にかけては1米ドル=160円を超える水準まで米ドル高/円安が進行しました。期末付近では、円キャリー取引の巻き戻しや日本当局による為替介入と見られる動きなどから米ドル安/円高に振れたものの、期末には1米ドル=158円近辺で推移し、前期末に比べて大幅に米ドル高/円安が進行しました。

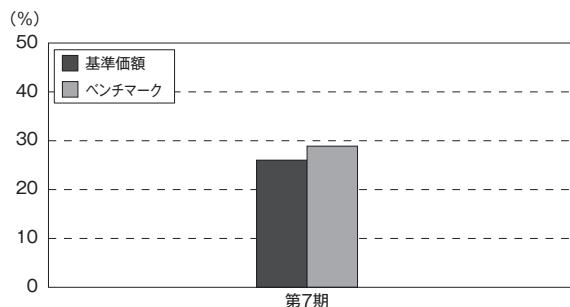
6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・解約による資金フローを鑑みながら、マザーファンドへの投資を通じて、投資先ETFの組入比率を高位に維持しました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)とベンチマークの騰落率の対比です。

当期の基準価額の騰落率は+26.0%上昇し、ベンチマーク比では△2.9%となりました。主な差異要因としては、マザーファンドにおける継続的な資金流入に伴う投資先ETFの売買執行コストの積み重なりや投資先ETFからの分配金に対する課税、当ファンドにおける信託報酬等の要因が挙げられます。



8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第7期	
	2023年7月19日~2024年7月16日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	(—)	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	6,486	

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続きマザーファンドを通じて、投資先ETFの組入比率を高位に維持します。

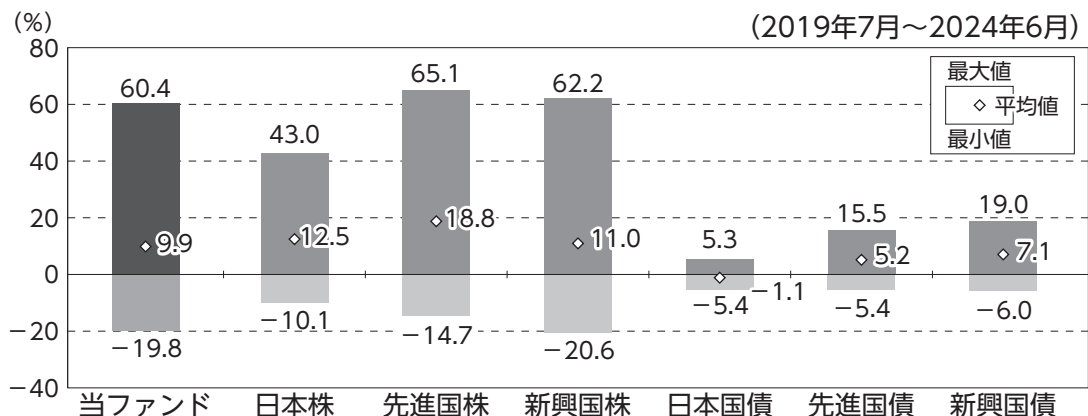
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限(2017年11月17日設定)	
運用方針	新興国の株式市場の動きをとらえることを目指して、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要投資対象	楽天・新興国株式インデックス・ファンド	楽天・新興国株式インデックス・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	上場投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として上場投資信託証券に投資し、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。 ②マザーファンド受益証券への投資割合は、原則として高位を維持します。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるよう、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス (円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・グローバル国債 (日本除く) インデックス (円ベース)

新興国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て高流動性国債インデックス (円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

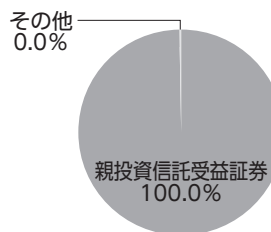
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

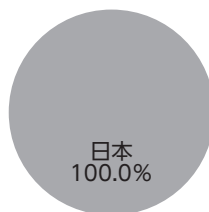
■組入ファンド

	当期末
楽天・新興国株式インデックス・マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

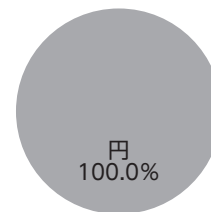
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第7期末
	2024年7月16日
純 資 産 総 額	4,356,150,154円
受 益 権 総 口 数	2,642,303,433口
1万口当たり基準価額	16,486円

※期中における追加設定元本額は974,591,312円、同解約元本額は726,011,704円です。

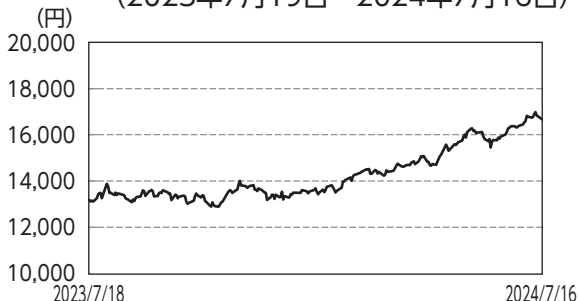
3 組入ファンドの概要

楽天・新興国株式インデックス・マザーファンド

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2023年7月19日～2024年7月16日)



■1万口当たりの費用明細

(2023年7月19日～2024年7月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	2円 (2) (0)	0.014% (0.012) (0.002)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合計	5	0.034

期中の平均基準価額は14,273円です。

(注)費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

■組入上位10銘柄

現物資産上位10銘柄

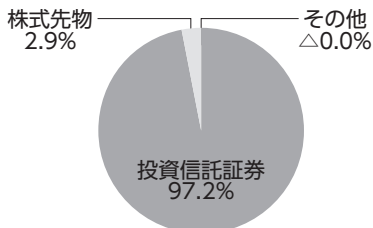
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットEF	投資信託証券	米ドル	アメリカ	97.2%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数		1銘柄			

(2024年7月16日現在)

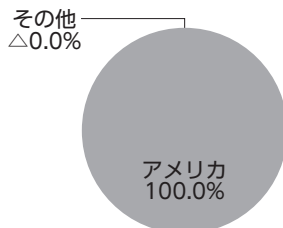
派生商品上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MSCI EMERG M	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	2.9%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数		1銘柄			

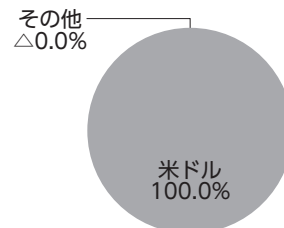
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、株式先物は実質エクスポージャーを基に計算しています。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

当ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド(以下「FTSE」といいます。)、ロンドン証券取引所(以下「LSEG」といいます。)(総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。)(のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。

ライセンス供与者は、「FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)・インデックス」(以下、「本指数」といいます。)(の使用およびいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。

本指数はFTSEによって編集および計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず(過失の有無を問わず)、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。

FTSE[®]はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。